

会 議 議 事 録

1 会議名	令和2年度 第1回長岡市環境審議会
2 開催日時	令和2年11月6日(金)から令和2年11月16日(月)まで
3 開催場所	書面会議 (新型コロナウイルスの感染の拡大防止の観点から、委員からの意見聴取による書面審議とした。)
4 出席者名	<p>(委員) 宮腰会長 大原副会長 木村(悟)委員 中村委員 西俣委員 和田委員 白井委員 山田委員 永井委員 丸山委員 遠藤委員 坂本委員 平澤委員 木村(順)委員 大竹委員</p> <p>(事務局) 若月部長 桜井環境政策課長 平澤環境施設課長 小林環境業務課長 長谷川環境企画担当係長 土屋環境政策課主任 鈴木環境政策課主事 林環境政策課主事</p>
5 欠席者名	なし
6 議事	<p>(1) 令和2年版 環境に関する年次報告書(案)について</p> <p>(2) エコロジー標語コンクール審査結果について</p>
7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・議事(1)で委員から寄せられた質問等は、回答を作成し、委員に送付することとする。 ・議事(2)審査結果の報告を行った。
8 審議の内容	
(委員からの意見) 委員	<p>令和2年版環境に関する年次報告書(案)について</p> <p>(施策の方向13)人づくりの推進での、出前講座や観察会の実施回数が伸びていて素晴らしい。感染症の影響で、さらに出前講座を求める声が高まるのではないかと思います。さらに充実と広報等をお願いします。</p>
事務局	<p>これからも将来世代を担う子どもたちへの講座や観察会等の充実を</p>

	<p>図るとともに、子どもたちをはじめ市民が参加したくなるような広報活動を行っていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>(施策の方向 2) ごみの減量と資源循環の推進について、市全体のごみ排出量が向上しているのに対して、市民 1 人 1 日あたり排出量や、リサイクル率が低下しています。ここの改善の取り組みは、どのように考えますか。コロナ禍でテイクアウト需要が増え、令和 2 年度以降は、この部分が顕著に出てくると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>市民一人ひとりの 3 R の意識が大切だと思いますので、引き続き、市政だよりやごみ情報誌等を通じての周知啓発、説明会、施設見学及び出前講座などにより環境教育を進めていきます。</p>
<p>委員</p>	<p>クールシェアスポットについて、コロナウイルス感染予防対策や、今後の取り組みについて計画はありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>社会情勢を鑑みて、予防対策やこれからの取り組みについて検討します。</p>
<p>委員</p>	<p>(施策の方向 10) 廃棄物の適正処理について減少傾向にあるものの、有効な施策があったのか。施策の継続と改善を実施し、適正処理を目指してください。</p>
<p>事務局</p>	<p>不法投棄を防止するため、土地所有者や地域住民がこまめに清掃や草刈りを行い、市は不法投棄防止看板の交付やパトロールを行っていきます。今後も継続して、市民と市で連携し協働で取り組み、実施していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>ノーマイカーデーの実施参加者が、少ない(昨年も)と思います。もっと民間企業に協賛を求められませんか。コロナ禍でのクールシェアをどのように推進していきますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ノーマイカーデー推進協議会にご意見をお伝えし、今後の実施方法等について検討します。 クールシェアは、社会情勢を鑑み、実施方法等について検討します。</p>
<p>委員</p>	<p>棚田の保全・活用については、やはり農地はすべて保全するべきだと思います。平場の農地では、融雪後、ごみが捨てられ、耕作の障害となることが見受けられます。広い視野でみてもらえるとありがたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>市政だよりやごみ情報誌等を通じて、不法投棄防止の呼びかけを行</p>

<p>委員</p>	<p>っていきますので、引き続き、啓発活動を進めていきます。</p> <p>びん、缶、ペットボトルの資源化が下降を示している現状で、リサイクルできない燃やさないごみの量に関して、これまでの推移や内容などを今後明記されないでしょうか。</p> <p>地下水状況の「見える化」システムの内容を市ホームページを通して見させていただきました。非常にわかりやすく、良いのですが、市ホームページ最下層にあること、そして、ほかの地下水位関係の項目が多数ある中で、せっかくの良いコンテンツが埋もれている感じがします。整理整頓など可能でしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和2年版年次報告書から、推移に関する記載を行うよう検討します。</p> <p>ページ構成やリンク設定等を見直し、みなさんが閲覧しやすいホームページになるよう工夫します。</p>
<p>委員</p>	<p>(施策の方向5) 大気汚染・悪臭の防止について、環境基準値に対して年平均値が下回っていることが示されています。環境基準は年平均値を対象にして設置されているものではありません。一連のグラフは環境基準を満たしている。満たしていない。という判断には使えません。この件は昨年も指摘しました。県から平均値のデータしか貰っていないので、という回答だったとおもいます。平均値のほかに、各基準で使っている1日平均値や時間平均値の最大値をエラーバー等で書き加えれば、環境基準を上回っていないことを示すことができます。</p>
<p>事務局</p>	<p>グラフについては、みなさんに分かりやすく伝えるため年平均値のみを示しました。環境基準は年平均値がどの程度かをイメージしやすいよう比較として記載しましたが、引き続き、掲載方法について研究・検討します。</p>
<p>委員</p>	<p>SDGs (持続可能な開発目標) 視点で報告書が編案されているのは、関連を理解するのに役立ちます。今後は社会の課題に対して、行政として、どう解決を図って行ったのかを組み込んでいけると良いと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>SDGs (持続可能な開発目標) の視点を踏まえ、課題の解決に向けて環境政策をどのように推進したのか記載したいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>年次報告書の1ページでSDGs (持続可能な開発目標) に対する意思表示を行い、2ページの「施策の体系図」にそれぞれのSDGs</p>

事務局	<p>に対応したゴールが掲載されておりますが、非常に良い取り組みだと思しますので、継続していただきたく存じます。また、最後のページにある評価項目の達成一覧は見やすく利用しやすく、良いものだと思いますので、継続していただきたく存じます。</p> <p>年次報告にアイコンが示されていることで、どの取り組みがどのような項目と対応しているのかがわかりやすくなっていて良いと思います。</p> <p>今年度中にと、急かすつもりは一切ないですが、以下のことを考えました。市ホームページ上に年次報告書を掲載していますが、PDFの必要な個所にリンク設定を行い、その情報に飛べるようにしていただくのはいかがでしょうか。まずは、市民の方に広く知っていただきたい内容に関連するもののみでよいかと存じます。</p> <p>SDGs（持続可能な開発目標）は、環境が全ての根幹にあるという考えの下、引き続き、各施策を推進し、持続可能な社会の実現を目指します。</p> <p>ページ構成やリンク設定等を見直し、みなさんが閲覧しやすいホームページになるよう工夫します。</p>
(委員からの意見)	環境政策全般について
委員	<p>学校向けのコンクール等は、文書で周知するだけでなく、市の校長会、教頭会の機会に広報に来ていただくと、各校の意識がぐっと高まるかもしれません。</p>
事務局	<p>来年度以降の事業周知の機会として活用させていただきます。</p>
委員	<p>全体的に、我々市民に、この環境政策の認知が低いと思います。私も委員になって初めて、この取り組みを知りました。コロナ禍で認知活動や啓発事業は難しいかもしれませんが、方法はあると思います。環境部の素晴らしいところは、みなさんと関わることで、私たち市民は「ごみ分別に気をつけよう」と思ってしまうところです。みなさんの存在が、私たち市民の意識改革に十分つながると思うので、そこをもっと活かしてほしいと思います。</p> <p>イベントや講座など、市民との交流を通して、環境を保全する重要性について周知を図るとともに、市民や事業者の方々の意識向上に努めていきます。</p>

委員	市ホームページでは、ごみ・リサイクルは「市政」のところからアクセスしやすいですが、年次報告書については見つけづらく、検索機能を利用しないと難しいようです。「環境」だけだと項目はなにも出ません。
事務局	ページ構成やリンク設定等を見直し、みなさんが閲覧しやすいホームページになるよう工夫します。
委員	びん容器の回収量が年々減少しているようです。リサイクル可能なびん容器（Rびん以外も）の紹介や、回収可能な場所、店舗の案内などできないものでしょうか。
事務局	市では、「ごみ減量・リサイクル協力店」制度があり、現在、43店舗の登録があります。引き続き、リサイクルの推進、協力店の紹介などについて、市ホームページや「ごみ情報誌」等で周知啓発を図っていきます。
委員	地球温暖化の緩和策については、新技術の採用や啓蒙活動を継続することが必要と考えています。
事務局	市民をはじめ事業者への啓発が重要であると考えているため、イベントや市ホームページ等を通して周知を図るほか、新技術の活用についても研究していきます。
委員	環境問題は、個々でなんとかできることではありませんが、どこまで意識して、気遣うかが大切だと思います。これからも、市民や企業を巻き込む、より一層の働きかけと、行動を期待しています。
事務局	環境に関する講座やイベント等を通じて、環境保全の重要性について周知を図るとともに、市民や企業などと連携した取り組みを研究していきます。
委員	これだけ多くの事業を行っているのに、あまり知られていないという率直な感想があります。特に小中学生に、もっと見てもらったりすると良いと思います。
事務局	様々な機会を捉えて、市の取り組みについて広報するとともに、将来世代を担う小中学生には、出前講座等を通じて環境保全の重要性を啓発していきます。
委員	水害等による化学物質（化審法対象）や化審法の対象にならない工業用の油（熱処理、切削等）の流出が問題となっています。事業所外

	<p>への流出はあってはならないことですが、ゼロリスクにはなりません。昨年、佐賀県大町の被害では、大量の熱処理油が住宅地を汚染し大きな問題になりました。事業所や行政と住民の間のコミュニケーション不足も問題でした。</p> <p>平素から、事業所と周辺住民とでリスク・コミュニケーションをとることが必要になってきます。環境省では、科学物質アドバイザー制度を設けて、中立的な立場からリスクを支援しています。こうした取り組みが長岡市であれば記載するのがよいのではと思います。</p> <p>寿クリーンセンターも、信濃川の堤防が決壊した場合には、大規模に浸水するかと思います。どのような浸水防止対策をしているのか。また、対策を上回る浸水があったことを想定して、周辺住民とどのようなリスク・コミュニケーションがなされているのか、あるいは今後していくのか。環境保全と住民の安全・安心を図る立場から次年度以降、何らかの取り組みをされたり、既にしていれば報告書に記載していくのがよいのではと考えています。</p>
事務局	<p>市としては、リスクコミュニケーションは事業者が自身の事業運営を総合的に判断し、必要に応じて自主的に行うことが重要であると考えています。</p>
事務局	<p>寿クリーンセンター周辺に限らず、浸水リスクについては「長岡市防災ハザードマップ」により、市域の大雨による浸水規模のシュミレーション及び近隣の避難場所が示されていますので、このハザードマップの更なる周知により、地域住民との防災意識の共有を図っていく必要があると考えています。</p>
委員	<p>近年、有害鳥獣による生活環境被害が増加傾向にあります。山林所有者の世代交代等の社会背景から放置状態の里山が増えたことが、大きな要因の一つとして考えられます。人的被害が発生する前に、集落に近い里山の環境整備が必要であると考えています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、木材市場も影響を受けているため、令和2年度以降の間伐材などの利用実態（取扱量）が減少する見込みであります。</p>
事務局	<p>鳥獣対策は、効果的な捕獲と合わせて、有害鳥獣を寄せ付けない対策（里地・里山保全による生息地管理）が重要であると考えています。これからは地域等と連携した里山整備を研究していきます。</p>
9 会議資料	添付のとおり